



日光市観光協会 マーケティングレポート

2026日光市 訪日外国人観光客分析 5月

2026年7月作成

1

SUMMARY | 5月

入込数

64,796人
前年比 147.0%

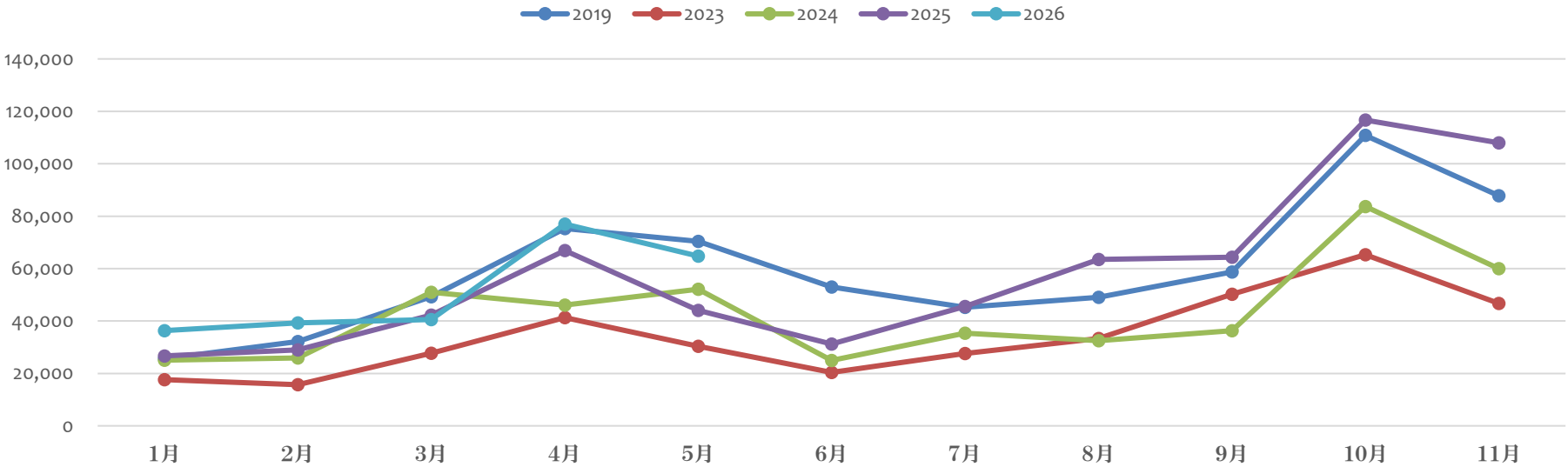
日帰り客

40,509人
前年比 155.4%

宿泊客

24,287人
前年比 134.9%

訪日光外客数月別推移（2019、2023～2026年）



2 月間推移

前年同月比較詳細

カテゴリー	2026年5月	2025年5月	前年比（%）
入込数 (全体)	64,796人	44,078人	147.0%
日帰り客数	40,509人	26,071人	155.4%
宿泊客数	24,287人	18,007人	134.9%
全国訪日外客数	3,559,900人	3,693,587人	96.4%

2026年5月の日本全体の訪日外客数は、桜・イースターのピーク期（4月）と夏休みの狭間にあたる端境期であり、航空便減便等の影響も重なって前年比96.4%（約356万人）と前年を下回った。

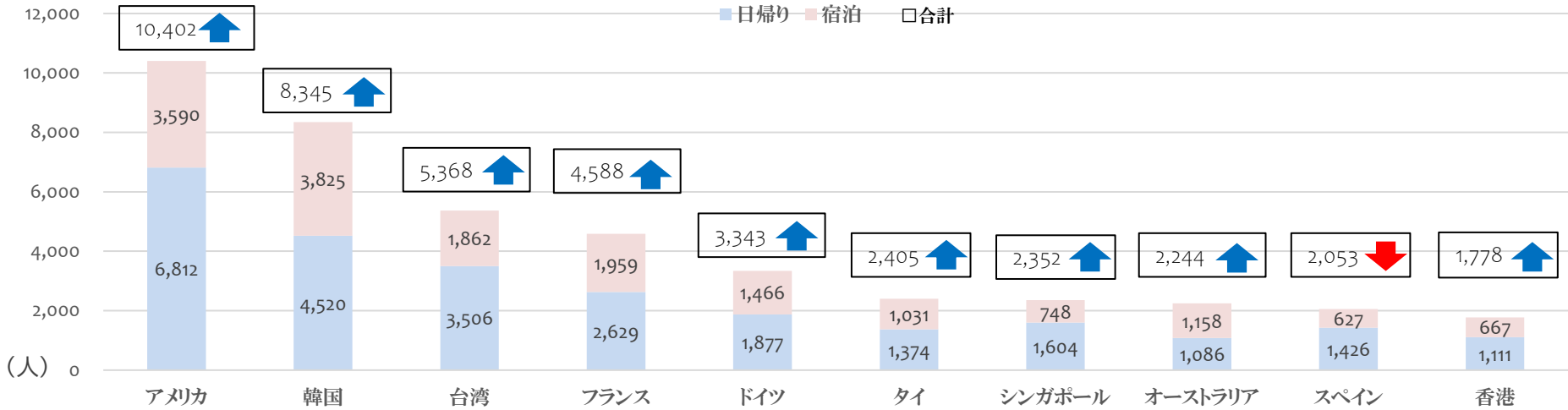
一方で、日光市の総入込数は64,796人・前年比147.0%と大幅なプラス成長を記録し、全国的な需要減速局面においても強い集客力を発揮した。内訳を見ると、日帰り客が前年比155.4%と急増した一方、宿泊客も前年比134.9%と力強く伸長した。しかし、成長の伸び幅自体は日帰り客が宿泊を上回っており、東京からのアクセス利便性を背景とした「日帰り周遊化（通過型観光）」の傾向は依然として注視すべき重点課題である。

3

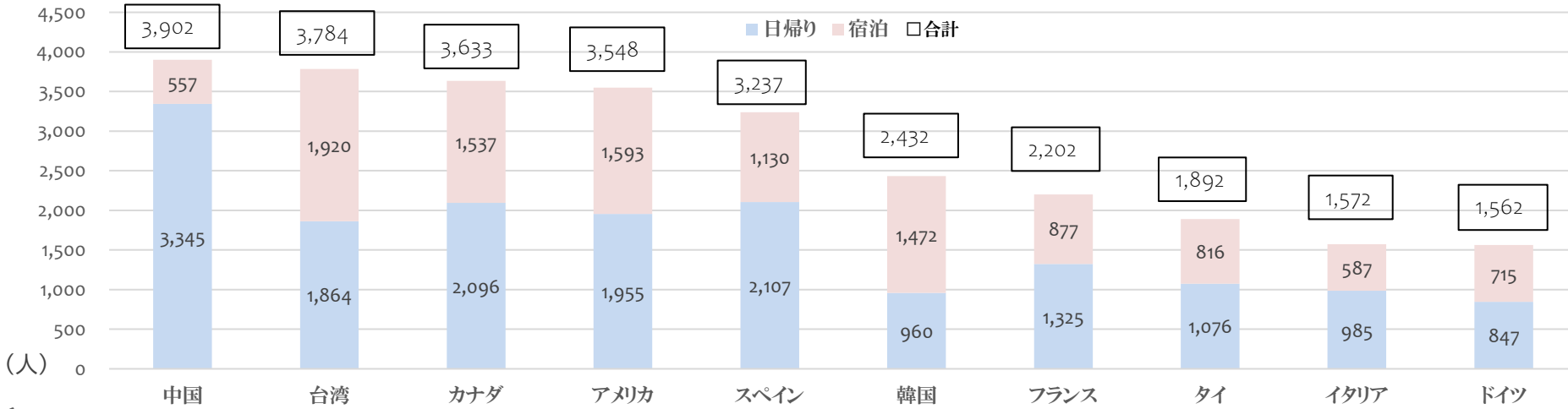
国籍別動向

(1) 全体

2026年5月



2025年5月



(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

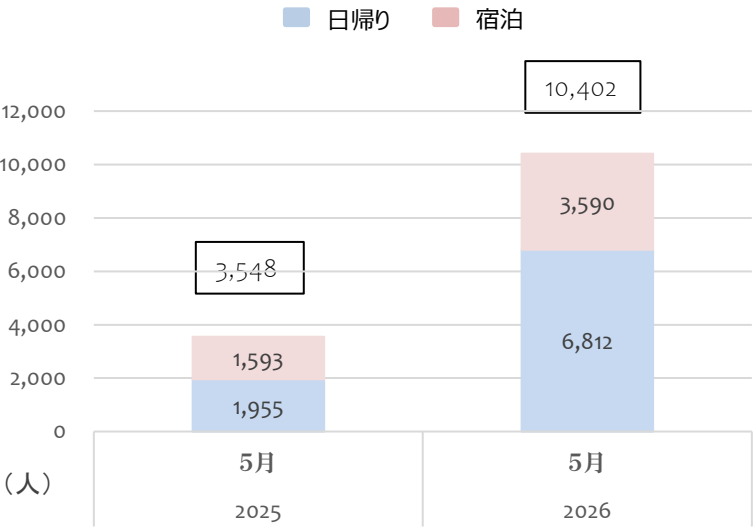
1位 アメリカ



10,402人
前年比 293.2%

全国動向 (JNTO)
333,700人
前年比 107.0%

全国シェア 3.1%



前年比2.9倍で1万人突破！日帰り急増に應える「滞在価値」の再構築へ

全国動向が前年比107.0%の中、日光市は前年比293.2%（10,402人）と約2.9倍へ爆発的に増加した。宿泊数も3,590人と倍増した一方、日帰り客（6,812人）の伸びが著しく、宿泊比率は34.5%へ低下。東京発の日帰り周遊ルート化が進む中、奥日光等を含めた「滞在価値」の再訴求が急務か。

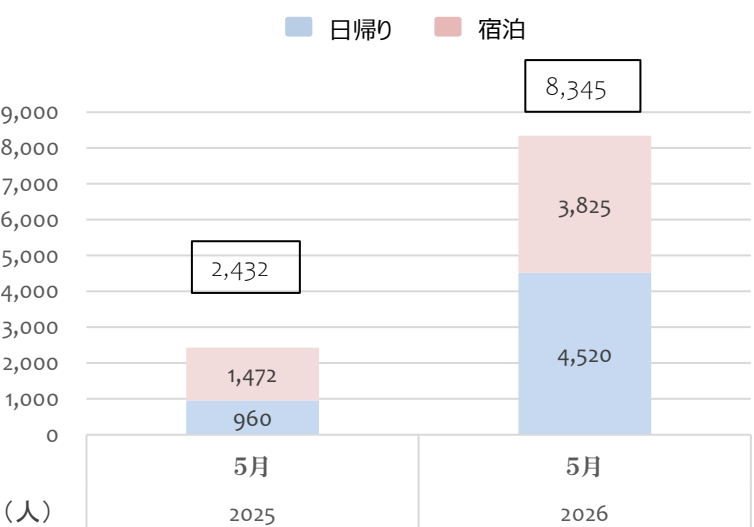
2位 韓国



8,345人
前年比 343.1%

全国動向 (JNTO)
951,300人
前年比 115.2%

全国シェア 0.9%

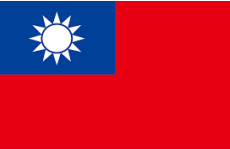


前年比3.4倍へ急伸！宿泊3.8千人の注目市場へ

全国動向が前年比115.2%の中、日光市は前年比343.1%（8,345人）と約3.4倍へ爆発的に急増。日帰り客（4,520人）の流入に加え、宿泊数も3,825人（宿泊比率45.8%）と大きく拡大している。都心からのアクセス利便性を生かしつつ、新緑や温泉、歴史体験を組み合わせたプロモーション展開により、さらなる連泊化が期待か。

(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

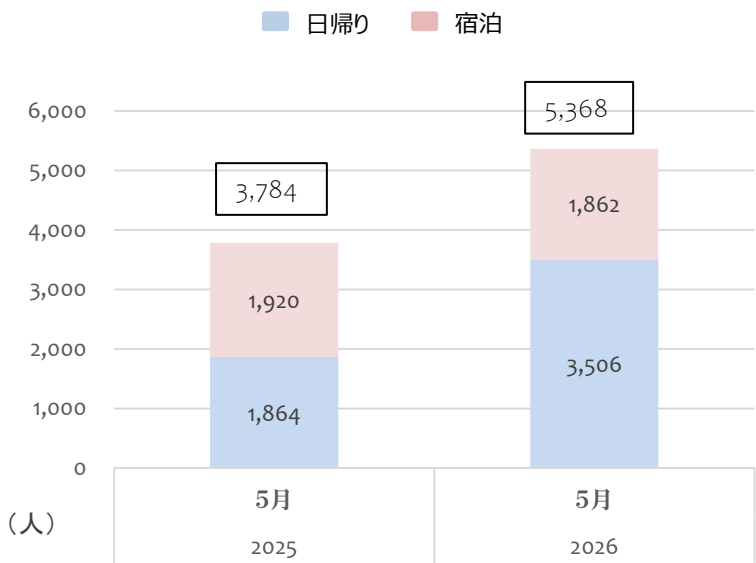
3位 台湾



5,368人
前年比 141.9%

全国動向 (JNTO)
616,800人
前年比 114.6%

全国シェア 0.9%



前年比141.9%と着実に拡大！日帰り増への対応と連泊化が鍵

全国動向が前年比114.6%の中、日光市は前年比141.9%（5,368人）と着実な伸びを見せ。宿泊数は1,862人と微減にとどまる一方、日帰り客が3,506人（前年1,864人）と急増したため、宿泊比率は34.7%へと低下。リピーターやFIT層に向け、自然散策や文化体験を軸とした「宿泊滞在」の訴求が重要か。

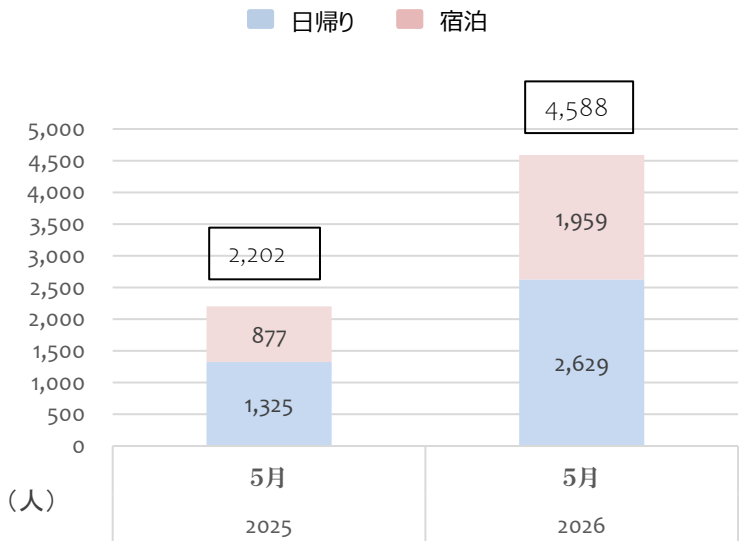
4位 フランス



4,588人
前年比 208.4%

全国動向 (JNTO)
48,500人
前年比 105.3%

全国シェア 9.5%



全国シェア9.5%！前年比2.1倍の飛躍で存在感を示す欧州コア市場

全国動向が前年比105.3%と横ばい傾向の中、日光市は前年比208.4%（4,588人）と倍増し、全国シェア9.5%を獲得する強力な集客を示した。宿泊数も1,959人（前年877人）へ大幅増加している。日帰り客（2,629人）の流入も加速しているため、歴史・文化資源を生かした夜間観光や上質な体験コンテンツの提供がさらなる滞在向上に効果的か。

(2) 国籍別 日帰り・宿泊数

5位 ドイツ



3,343人

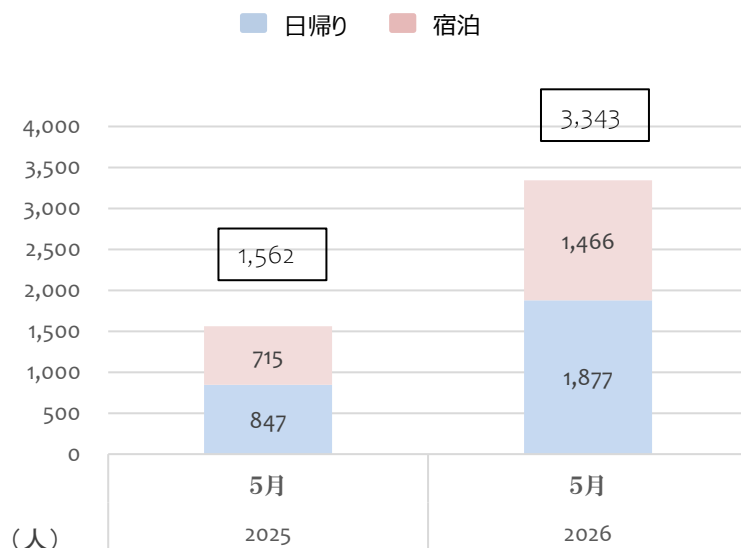
前年比 214.0%

全国動向 (JNTO)

50,200人

前年比 118.8%

全国シェア 6.7%



前年比2.1倍と倍増！宿泊数も1,400人超へ着実に伸長

全国動向が前年比118.8%の中、日光市は前年比214.0%（3,343人）と倍増し、全国シェア6.7%を獲得した。宿泊数も1,466人（前年715人）へと2倍以上に増加する。歴史・文化財や自然ハイキングを好む層を中心に新緑期の滞在需要が定着し、さらなる連泊を促す上質なコンテンツ整備が有効か。

6位 タイ



2,405人

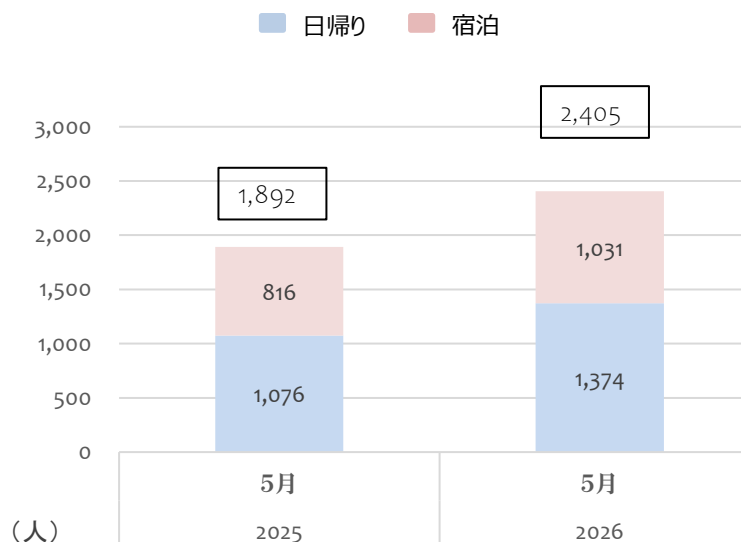
前年比 127.1%

全国動向 (JNTO)

98,800人

前年比 91.4%

全国シェア 2.4%



全国前年割れの中で前年比127%！堅調な宿泊需要を維持

全国動向が前年比91.4%と落ち込む中、日光市は前年比127.1%（2,405人）と逆風下で前年超えを達成。日帰り客（1,374人）の流入とともに宿泊数も1,031人（前年816人）へと堅調に増加している。東南アジア層に向け、新緑や温泉といった日光ならではの自然・文化体験を軸としたアプローチが効果的か。



【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、一般社団法人日光市観光協会の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当協会までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
- 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまの判断で利用してください。



日光市観光協会

一般社団法人日光市観光協会

（本部）

〒321-1261 栃木県日光市今市717-1
道の駅日光 日光街道二コ二コ本陣 観光情報館
電話：0288-22-1525（代表）